

第76回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録(案)

1. 日 時: 2015年4月8日(水) 13時30分～15時50分
2. 場 所: 日本機械学会 第1会議室
3. 出席者: 木村(NIMS)、伊藤(IHI)、井手(東電)、齊藤(中電)、妹尾(関電)、俣野(KHI)
森(新日鐵住金)、戸田(NIMS)、菊原(MHPS 呉)
欠席者: 清水(MHI)
事務局: 原

4. 配付資料

- 76-1 第75回材料分科会議事録(案)
- 76-2 材料分科会委員名簿
- 76-3 第71回火力専門委員会議事録
- 76-4 第26回材料専門委員会議事録
- 76-5 第73回規格委員会議事録
- 76-6 発電技検 I I P の検討状況
- 76-7-1 書面投票の意見と対応案
- 76-7-2 2015年追補版策定基本方針
- 76-7-3 2015年追補版許容応力表集約版(書面投票意見対応反映)
- 76-7-4 2015年追補版許容応力表変更箇所(書面投票意見対応反映)
- 76-7-5 対比表(許容応力表以外)
- 76-7-6-1 火技解釈対比表(2014.9.16)一部抜粋
- 76-7-6-2 火技解釈(2014.12.10)一部抜粋
- 76-7-7 許容応力表Ⅱ-1-1 変更点
- 76-8 欠番
- 76-9-0 審議履歴表

5. 議 事

- (1) 前回議事録確認 [資料 76-1]
前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

- (2) 分科会委員の承認 [資料 76-2]
- ・ 戸田委員の退任が報告された。新任委員候補、再任委員候補はなし。
 - ・ 所属組織の名称の変更 独立行政法人 → 国立研究開発法人
バブcock日立 → MHPS 呉

(3)火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

(3-1)火力専門委員会

[資料 76-3]

第 71 回火力専門委員会の主要な審議内容が、以下のとおりが報告された。

- ・ 第 74 回、第 75 回の材料分科会の活動状況報告。
- ・ 発電技検での経産省からの委託調査 I I P 検討委員会での検討状況の紹介
- ・ 材料専門委員会への回答依頼に対する回答
- ・ 発電用火力設備規格追補の発行について提案を行い、書面投票を行うことが承認された。

(3-2) 材料専門委員会

[資料 76-4]

第 25 回材料専門委員会の主要な内容が、以下のとおり報告された。

- ・ 開示制限データ取扱要領(案)書面投票の意見対応について
- ・ 許容引張応力 S 値に関する材料規格間比較について
- ・ SN 材規格化のための検討依頼について
- ・ Su, Sy 値策定のための手順書案について

(3-3) 規格委員会報告

[資料 76-5]

第 72 回規格委員会の審議内容のうち、火力・材料に関連する内容が報告された。主要な事項は以下のとおり。

- ・ 火力専門委員会報告、分科会活動状況、電力安全小委員会における JSME 規格に関する関連情報報告。
- ・ 開示制限データ取扱要領(案)の書面投票意見対応について。
- ・ 発電用火力設備規格追補の発行について提案を行い、火力専門委員会での書面投票可決を条件に、規格委員会の書面投票を行うことが承認された。

(3-4) I I P 委員会での検討状況の紹介

[資料 76-6]

火力専門委員会の藤田副委員長が火力専門委員会において報告した I I P 検討委員会の検討状況を紹介した。

- ・ 安全率を 3.5 にする場合の許容引張応力に関する検討状況、材料の使用制限等に関する検討状況。
- ・ 耐圧試験圧力は、安全率を 3.5 にすることにより降伏点に対する余裕が少なくなるので、最高使用圧力 $\times 1.3$ とする方向で検討中。
- ・ 液化ガス設備に係る検討については、来年度に実施する予定であるが、1～2 年程度かかる見込み。
- ・ 当初は DM3.5 と DM4 を併記の方向で検討中。

(4)審議事項

(4-1) 発電用火力設備追補案

1) 書面投票の意見と対応案について

[資料 76-7-1]

資料 76-7-1 により、書面投票における意見とその対応案について説明。

2) 書面投票提案資料と意見対応案の審議

資料 76-7-2～76-7-7 の資料により、書面投票提案資料と書面投票の意見対応などにより、書面投票以降変更になった点について、木村主査および伊藤副主査から説明があった。

- ・ 火技解釈 2014 年 9 月 16 日改訂版の対比表では見えていなかった部分が、火技解釈 2014 年 12 月 10 日改訂版では変更となっているので、この許容応力が変更になった部分を新たに追補案に反映する。(許容応力表Ⅱ-2-1 JIS 非鉄材料に関する部分)
 - ・ この修正は技術的な内容の修正となるので、再度書面投票を行う見通しである。書面投票は対象が限定されるため、2 週間とする方向。
 - ・ 備考の(J1)は、「この欄の許容応力値は発電用火力設備の技術基準の解釈（平成 26 年 12 月 10 日改訂版）別表第 2 の値と同じ値である。」と修正し、備考(J2)は削除する。
 - ・ 許容応力表Ⅱ-1-1 の許容応力に、8 ヶ所誤記があったので修正する。火技解釈の数値が入っていたところを JIS B8267 に揃える。
- 上記の修正について、各委員が確認し修正案が承認された。

- ・ 今回の修正を反映した資料一式と書面投票再投票用の資料は、主査がとりまとめ CS キャビネットにアップする。

3) 追補案原稿について

- ・ 次回の材料分科会開催時(5/21)は、規格委員会の書面投票中と想定される。基本的に今回の修正結果を取り込んだ原稿の電子データを、次回分科会までに各委員が準備することとする。
- ・ 2012 年版の原稿が CS キャビネットの規格出版原稿閲覧室に格納されているので、この書式を変えずに原稿を修正する。ワードは拡張子が docx のバージョンとする。
- ・ 原稿作成において不明な点などがあれば、材料分科会三役または事務局に問い合わせる。

(4-2) レビュー票審議

伊藤副主査から、資料 76-7-7 の最終ページに基づいて 201X 版改訂における、JIS B8267(2008)から(2015)への追加材料の対応方針について説明があり、承

認された。

(4-3) その他

登録安全管理審査機関向け JSME 規格説明会について

国から JESC 経由で上記説明会の実施について打診があった。資料等の作成依頼があった場合は対応する。

6. 次回開催予定

日 時 : 2015 年 5 月 21 日 (木) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 4,5 会議室

○次回の議題は、発電設備規格委員会の書面投票対応、追補案原稿の確認、201X 改訂案の審議などを予定。